

臨床研修カリキュラム

養成コース [乳腺・甲状腺・内分泌外科]

全体目標: 外科診療、外科手技の基本を身につけ、主な乳腺、内分泌疾患について生理検査・画像検査を含めて幅広く学び、外科一般、乳腺内分泌外科領域の基本的な診療ができる。

個別目標:

- 1) 以下の検査に関し、①適応の判断 ②手技の実施 ③結果の解釈 ができる。
血液検査(内分泌検査、腫瘍マーカー、術前一般検査)、動脈血液ガス分析
- 2) 乳腺マンモグラフィの系統的な読影ができ、異常陰影を指摘し、解釈を述べることができる。
- 3) 甲状腺、乳腺超音波検査の系統的な読影ができ、異常陰影を指摘し、解釈を述べることができる。
- 4) 副腎腫瘍の鑑別診断の実施方法、合併症を述べることができる。
- 5) 内分泌疾患治療適応に関して判断できる。
- 6) 甲状腺癌の病期および治療適応に関して判断できる。
- 7) 乳癌の病期および治療適応に関して判断できる。
- 8) 化学療法を、決まったプロトコール、レジメに従って、副作用などを理解し、実施できる。
- 9) 緩和ケアに関して理解し、基本的な症状コントロールが実施できる。
- 10) 患者の尊厳に配慮し、死亡確認および遺族への対応が行える。
- 11) 皮膚縫合が指導なしに行える。
- 12) 初歩的な外科手技を指導のもと術者として行える。
- 13) 合併症のない患者の術前術後管理が行える。
- 14) 術後患者のドレーン管理が行える。
- 15) 上級医・指導医の指導監督のもとで病状説明ができる。

方略:

病棟で3-5人程度の患者を受け持ち、上級医・指導医の指導のもと受け持ち医として主体的に診療する。

- ・教授回診…週1回(月)。受け持ち患者に関してプレゼンテーションを行う。また、学生が担当となった受け持ち患者に対しては学生にプレゼンテーションの指導を行う。
- ・講師回診…週回(水・木・金)。受け持ち患者に関してプレゼンテーションを行う。また、学生が担当となった受け持ち患者に対しては学生にプレゼンテーションの指導を行う
- ・術前カンファレンス…週1回(木)。受け持ち患者に関してサマリー作成、プレゼンテーションを行う。また、学生が担当となった受け持ち患者に対しては学生にサマリー作成、プレゼンテーションの指導を行う
- ・術後カンファレンス…週1回(月)。術者として手術を行った場合、手術経過を報告する。
- ・体表著音波検査…週2回(月・金)。検査の準備を行い、一部検査を実施する。
- ・合同カンファレンス…週1回(水)。乳腺甲状腺内分泌外科、放射線診断部、放射線腫瘍部、病理部による合同カンファレンスに参加し、受け持ち患者のプレゼンテーションを行う。
- ・抄読会…週1回(月)。ローテーション中1回発表する。
- ・その他、地方会や呼吸器勉強会、呼吸器レントゲンカンファレンス(2カ月に1回地域病院と合同で実施)に積極的に参加する。

評価:

- ・EPOC IIによる評価を行う
- ・修了時に評価表(研修医の経験内容等に関する自己評価および乳腺甲状腺内分泌外科の指導体制等に関する評価を記載)を提出。評価表は乳腺甲状腺内分泌外科のスタッフ・シニア以上のレジデント、全てが共有する。
- ・ローテーション中に養成コース長による面接評価を行う。